

飯島 孝良 専任講師

研 究 業 績 2024年4月1日 現在

著書・論文等の区分	著書・論文等の名称、発行所・発表雑誌・学会等の名称、共著の場合の編者・著者名、該当頁数	発行・発表年月
著書（単）	『語られ続ける一休像—戦後思想史からみる禅文化の諸相』、ぺりかん社	2021.7
著書（共）	『別冊太陽 一休～虚と実に生きる～』、平凡社（共著者）、頁12-13・頁100-105・頁150-155	2015.10
著書（共）	『近代の仏教思想と日本主義』、法藏館（共著者）、頁347-377	2020.9
著書（共）	『若冲画賛—賛を読んで知る若冲画の秘密』、朝日新聞出版（共著者）、86-91頁	2024.3
論文（単）	「鈴木大拙の禅思想史観を再考する視座：一九三〇年代から四〇年代の記述を中心に」、『東京大学宗教学年報』32、頁117-135	2015.3
論文（単）	「戦後日本における中世禅文化論と一休の「像」：芳賀幸四郎を中心に」、『日仏東洋学会通信』39、頁1-24	2016.3
論文（単）	「西田哲学における〈統一〉概念とボードレールの影響関係」、『東京大学宗教学年報』33、頁85-99	2016.3
論文（単）	「唐木順三の一休論における「伝統」と「近代」」、『現代と親鸞』35、頁36-78	2017.6
論文（単）	「一休「像」の戦後史—日本禅文化論の語る「伝統」と「近代」—」、東京大学大学院人文社会系研究科博士論文、全317頁	2018.3
論文（単）	「市川白弦における「即」の論理—その批判的継承と一休の「像」—」、『宗教研究』391、頁53-77	2018.6
論文（単）	「鈴木大拙は日本における禅籍受容をどう考えていたのか—『禅思想史研究』を中心に—」、『近代仏教』26、頁75-99	2019.5
論文（単）	「大拙における禅思想史観と「日本」の位置—「業繋苦」と「靈覚」への問いとして—」、『国際禅研究』6、頁196-232	2020.11
論文（単）	「大拙における「靈覚」：「矛盾的自己」をめぐる問いとして—」、『西田哲学会年報』18（シンポジウム「靈性」）、頁18-33	2021.8
論文（単）	「鈴木大拙」、『国際禅研究』8、頁189-199	2022.1
論文（単）	「近代の居士禅における禅籍の位置—前田利鎌の「修養」を中心に—」、『禅学研究』100、頁413-440	2022.3
論文（単）	「室町期における「禅文化」はどうみられてきたか—戦前から戦後における文化史観の変遷をたどって—」、『禅学研究』101、頁75-104	2023.3
論文（単）	「《翻刻・解題》「養叟和尚入室法語」について」、『花園大学	2023.

	国際禅学研究所論叢』18、頁1-48	3
論文（単）	「一休と浄土教—その虚と実のあいだで展開する「禅と浄土」像」、『禅学研究』102、73-101頁	2024. 3
翻訳（単）	ディディエ・ダヴァン（飯島孝良訳）、「書評 小川隆著『神会：敦煌文献と初期の禅宗史』『語録のことば：唐代の禅』『臨濟録：禅の語録のことばと思想』」、『駒澤大学禅研究所年報』23、頁276-288【原文フランス語】	2011. 1 2
その他（単）	「或る夏の「帰郷」」、『アンジャリ』34、親鸞仏教センター、頁32	2017. 1 2
その他（単）	書評「安藤礼二『大拙』 水野友晴『「世界的自覚」と「東洋」：西田幾多郎と鈴木大拙』」、『近代仏教』27、頁80-86	2020. 5
その他（単）	書評「大竹晋『「悟り体験」を読む—大乘仏教で覚醒した人々』」、『近代仏教』28、頁166-170	2021. 5
その他（単）	書評「山田奨治、ジョン・グリーン編『鈴木大拙：禅を超えて』」、『宗教研究』95(3)、頁684-690	2021. 1 2
その他（単）	文庫版解説「日本の「伝統」を探究すること」、唐木順三『禅と自然』、法蔵館、頁263-273	2022. 9
その他（共）	日本仏教学会編『仏教事典』（「一休」担当）、丸善出版（共著者）、頁188-189	2021. 1
その他（共）	「対談一休問答」、伊野孝行『となりの一休さん』、春陽堂書店、頁64-85・頁130-149	2021. 3
口頭発表（単）	「鈴木大拙の禅思想史観をたずねて～『禅思想史研究第一—盤珪禅—』を手がかりに」、東北大学大学院日本思想史研究会例会（於東北大学）	2013. 1 2
口頭発表（単）	「20世紀が創った一休像～一休とわれわれのあいだにある多面体」、フランス国立極東学院シンポジウム「一休とは何か—この妖怪に再び取り組む」（於東京日仏会館）	2015. 1 1
口頭発表（単）	「メディアとしての一休「像」の創作とその意義」、「仏教と社会」学会第24回学術大会テーマセッションB（於上越教育大学）	2016. 6
口頭発表（単）	「「瞎驢辺滅却」と一休—『狂雲集』におけるその精神を再考する—」、シンポジウム「一休と禅のこころ」（於花園大学）	2017. 7
口頭発表（単）	「一休さんとわたし」、一休さんシンポジウム（於酬恩庵一休寺）	2017. 7
口頭発表（単）	「市川白弦の一休論における「即」の論理—大拙禅学の受容として—」、日本宗教学会第76回学術大会（於東京大学）	2017. 9
口頭発表（単）	“Problematic issues on the image of Zen culture and Ikkyū Sōjun : the making in 20th-century Japan.” The fifth UT / UC Graduate Student Japan Studies Workshop (University of Chicago, USA.)	2018. 3
口頭発表（単）	「近代の居士禅における『臨濟録』受容と反響—前田利鎌の場合—」、日本宗教学会第78回学術大会（於帝京科学大学）	2019. 9
口頭発表（単）	「大拙における禅思想史観と「日本」の位置—戦中から戦後の看	2020. 2

	方を軸に考える—」、国際禅研究プロジェクトシンポジウム「鈴木大拙の思想とその史的意義」（於東洋大学）	
口頭発表（単）	「大拙の禅学における「靈覚」 —「矛盾的自己」をめぐる問いとして」、西田哲学会第 18 回年次大会シンポジウム「靈性」（於 Zoom）	2020. 1 2
口頭発表（単）	「一休の〈像〉を読む—禅文化の史的展開を表すものとして—」、2021 年度国際禅学研究所特別講演会（於 Zoom）	2022. 3
口頭発表（単）	「戦時下から戦後における「東山文化」観について—芳賀幸四郎の中世禅林文芸論を中心に考える—」、仏教史学会 2022 年 7 月例会（於龍谷大学）	2022. 7
口頭発表（単）	「近世文学における「禅」の受容—『本朝醉菩提全伝』の一休像」、日本宗教学会第 81 回学術大会（於愛知学院大学）	2022. 9
口頭発表（単）	「一休と南山城—アウトサイダーがみた動乱の時代—」、京都学講座「復活・躍動する京都」（於花園大学）	2022. 1 0
口頭発表（単）	「歴代祖師の肖像に付された一休のことばを読む—その伝燈意識について」、一休フォーラム（於学士会館）	2023. 5
口頭発表（単）	「酬恩庵一休寺所蔵資料からみえるもの—いまに伝わる一休の精神をめぐって」、一休フォーラム in KYOTO（於酬恩庵一休寺）	2023. 7
口頭発表（単）	「山東京伝における一休像：近世文藝の「禅」イメージ形成」、日本宗教学会第 82 回学術大会（於東京外国語大学）	2023. 9
口頭発表（単）	「電子達磨 #3 禅語漢語考釈支援システム」所収の禅籍と抄物について—その現状と活用—」、第 94 回禅学研究会学術大会（於花園大学）	2023. 1 1
口頭発表（単）	「一休像の受容における虚と実」、日本仏教総合研究学会第 22 回学会（於龍谷大学）【招待発表】	2023. 1 2
口頭発表（単）	「一休の「狂」と「自由」—その生涯とことばからみえる禅風—」、アスニーセミナー（於京都アスニー）	2024. 2
口頭発表（単）	「一休の像でたどる日本禅文化史序説—その文学と美術を読む」、花園大学サテライト ZEN 講座（於日経ビル）	2024. 2
口頭発表（共）	「近代の仏教思想と日本主義」、日本宗教学会第 77 回学術大会パネル発表（於大谷大学）	2018. 9
口頭発表（共）	「エラノスという交差点—「宗教学」の形成史的再検討」、日本宗教学会第 81 回学術大会パネル発表（於関西大学）	2021. 9
口頭発表（共）	「戦時下の仏教—近代仏教研究からの視角—」、仏教文学会 2022 年 4 月例会シンポジウム（於 Zoom）	2022. 4
その他（単）	「一休宗純と一休さん —その〈像〉の展開を追う—」、2021 年度花園大学まなび庵 [https://www.youtube.com/watch?v=Doqhd3Moayo]	2022. 1
その他（共）	「日仏東洋学交流史の再検討」、日仏東洋学会公開シンポジウム [司会・コーディネート]（於東洋文庫）	2017. 1 1
その他（共）	「末木文美士『思想としての近代仏教』を読む—著者を迎えての	2018. 2

	書評会」、第15回「仏教と近代」研究会（於佛教大学）	
その他（共）	「日本学における日仏交流のこれまでとこれから—文学研究・宗教研究から考える—」、日仏東洋学会公開シンポジウム〔司会・コーディネート〕（於東京日仏会館）	2019. 2
その他（共）	「安藤礼二『大拙』を読む—合評会」、科研基盤研究(C)「日米の新資料による日本仏教グローバル化過程の研究—鈴木大拙を事例として」公開ワークショップ（於キャンパスプラザ京都）	2019. 3
その他（共）	『近代の仏教思想と日本主義』刊行記念オンライン座談会（於YouTube）〔 https://www.youtube.com/watch?v=Fvg3gv1Qtwk 〕	2020. 1 2
その他（共）	一休寺開山堂クラウドファンディング関連企画「一休フェス～keep on 風狂～」トークイベント「語られ続ける一休」（於酬恩庵一休寺）〔 https://www.youtube.com/watch?v=fktZtSHvvaQ 〕	2021. 1 1
その他（共）	お寺で対談「飯島孝良（花園大学国際禅学研究所専任講師）×横田南嶺（臨濟宗円覚寺派管長）」〔 https://youtube.com/playlist?list=PL_HtHEIkhsbrmM2RcbkEg_pYWod7ua1CW 〕	2023. 2

記入欄が足りない場合は、適宜行を追加してください。